

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福祉会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	3
3.	職員配置・入退職状況	5
4.	施設内・外研修参加報告	6
5.	実習・施設見学実施報告	8
6.	年間行事及び地域交流報告	9
7.	各事業所別報告	
7-1.	特別養護老人ホーム淑徳共生苑	10
7-2.	淑徳共生苑短期入所生活介護事業所	15
7-3.	淑徳共生苑通所介護事業所・ 淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所	16
7-4.	淑徳共生苑居宅介護支援事業所	17
7-5.	淑徳おゆみ診療所	19
7-6.	千葉県あんしんケアセンター松ヶ丘	19
7-7.	千葉県生活支援コーディネーター	21

1. 総括

令和7年度法人の基本方針は、①法人組織の一体化による連携強化②特養（98%）短期（85%）通所（72%・58%）の稼働率確保③職員のスキルアップ及び人材育成と安定確保④介護負担軽減を目指したICT等による積極的な業務改善⑤地域活動及び社会貢献活動の充実の5点を掲げた。また、淑徳福祉会の理念である共生（ともいき）八ヶ条を意識した運営を目指した。

法人の各部門がより連携して同じ方向に向かって取り組んでいけることを願いつつ、運営会議、リーダー会等を実施してきた。ロングショートから5名が特養入所に移行するなど着実に連携が進んできている。

共生苑では、特養部門、通所部門は稼働率の維持、向上を掲げて取り組んだ。特に特養の稼働率向上に向けた取り組みは着実に向上してきており、居宅介護事業所及びあんしんケアセンターも含めて今年もプラス決算で終わることができた。診療所については、薬価の変更やコロナワクチン接種の大幅な減少等の影響があり、残念ながらマイナス決算に終わっている。運営会議等を活用して相談員、管理者を中心に稼働率への意識は随分向上してきているので、より数字を意識しながら入居率、稼働率等の向上を達成していくことが必要と考える。

人材確保の課題は常にあると言わざるを得ない状況ではあるが、リーダー会、サブリーダー会での横の繋がりが強化されてきたこともあり、困った時のユニット間連携や応援体制がスムーズに行われるようになってきている。入居者や利用者にとってよい人材を確保することは必須であり、適正な職員配置の下で安全な運営ができる当たり前の状況を作り上げていくことが大切である。職員のスキルアップを目指した研修計画の精度を上げていく必要性も感じている。

昨年からの業務改善研修を基盤とし、積極的な業務改善を目指した取り組みに邁進してきた。補助金を活用した離床キャッチベッドや風呂用リフトを導入して腰痛からの脱却を図るICT機器活用を行い、成果を上げている。また、次年度には、大規模修繕ICTロボットの大型補助金による浴室改修、風呂用リフト、離床キャッチベット、ナースコール等の導入を予定しており、安心安全な環境が整備できる。

淑徳大学社会福祉学科を中心として大学が求める実習等については、全て受け入れている。あわせて生実町内会、商工会との地域連携の継続と強化も図っている。また、社会貢

献として市原特別支援学校つるまい風の丘分校現場実習・清掃ボランティア活動、千葉盲学校理療科施術体験会、大網白里特別支援学校現場実習、千葉家庭裁判所補導委託訓練に加え、千葉家庭裁判所フラワーリレーションの取り組みをスタートさせた。淑徳福祉会と
してできる社会貢献活動にさらに積極的に取り組んで行くべきと考えている。

令和7年度は、法人全体で見ると3年連続の黒字決算で終えることができた。特養部門の満床継続を意識した取組は必須であり、通所部門の稼働率向上に加え、診療所のマイナス決算分の取り戻しも優先課題としたい。さらに居宅、あんしんケアセンターも加え、計画的な運営を行うことで法人全体の安定的な収益確保に向けた底上げを目指したい。次年度は、さらに法人各部門が協働で法人運営全般について考えた取り組みを強化するための運営会議に加え、より経営面だけに焦点を当てた経営会議を発足させて前進していきたいと考える。安心で安全な法人となるべく着実に歩んで行きたい。

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	理事	監事	報告事項及び議案	
第1回	6月3日	6名	2名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告	令和6年度事業報告、決算報告について 定時評議員会の招集について 次期役員等選任（案）について 評議員選任・解任委員会の招集について 評議員選任・解任委員会の委員選任（案）について 次期評議員選任（案）について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・淑徳おゆみ診療所の現況について
第2回	6月18日	6名	2名	第1号議案 第2号議案	理事長（代表理事）の選定について 業務執行理事の選定について
第3回	9月21日	6名	2名	第1号議案 第2号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告 第4号報告	令和7年度第一次補正予算（案）について 淑徳共生苑食費・居住費の変更について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について 大規模修繕補助金申請状況について
第4回	12月12日	6名	2名	第1号議案 第2号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告 第4号報告	令和7年度第二次補正予算（案）について 給与規定の一部改訂について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について 千葉県高齢者福祉大会「研究発表」報告について
第5回	3月6日	6名	2名	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第1号報告 第2号報告 第3号報告 第4号報告	令和7年度第三次補正予算（案）について 令和8年度事業計画算（案）について 令和8年度当初予算（案）について 諸契約について 施設長人事（案）について 永年勤続表彰（案）について 業務執行状況について 事業執行状況について 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について 新駐車場の現況報告等

評議員会開催報告

回	期 日	評 議 員	監 事	報告事項及び議案
定 時	6 月 18 日	7 名	2 名	第 1 号議案 令和 6 年度事業報告、決算報告について 第 2 号議案 令和 7 年度当初予算（案）について 第 3 号議案 社会福祉法人淑徳福祉会新役員等選任について 第 1 号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について

3. 職員配置・入退職状況

(令和8年4月1日現在)

特養・定員 90 名／短期入所・定員 10 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（兼務）	1	1	－
生活相談員	2	3	－
看護師（兼務）	3	6(2)	2
介護職員	34	53	9
管理栄養士	1	1	－
介護支援専門員	1	1	－
医師	1	1	－
機能訓練指導員	1	1	－
周辺業務	－	5	5
事務員	－	4	2
庶務員	－	1(1)	1(1)
宿直員	－	4	4
計	44	81(3)	23(1)

通所・定員 20 名／認知症対応型通所介護・定員 6 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	2	(2)	－
生活相談員	2	2	－
看護師	1	1	1
介護職員（兼務）	4	9(3)	5
周辺業務	－	1	1
運転手（兼務）	－	2(1)	2(1)
計	9	15(6)	10(1)

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	1	(1)	－
主任介護支援専門員	－	1	－
介護支援専門員	1	2	－
計	2	3	0

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	－	1	1
事務員	－	2	1
放射線技師	－	1	1
薬剤師	－	2	2
計	1	8	6

あんしんケアセンター松ヶ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	1	(1)	－
保健師・看護師	2	3	－
主任介護支援専門員	2	3	－
社会福祉士	2	4	－
事務員	2	2	2
介護支援専門員	1	1	－
計	10	14	2

職員入退職状況（令和7年度中）

職種	入職	有期⇔無期、 正規雇用	退職
正規雇用職員	4	0	9
無期契約職員	0	0	0
有期契約職員	8	0	8
計	12	0	17

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容	
4 月	視聴型	事故防止対策について 職員の基本姿勢・接遇とマナーについて 倫理及び法令遵守について
5 月	視聴型 29 日	BCP（自然災害）について 緊急時対応（食事中の窒息）について
6 月	27 日 20 日	感染症の予防及びまん延予防のための訓練 基礎介護技術（おむつのあて方）
7 月	視聴型 25 日	食中毒予防と対策について 褥瘡予防について
8 月	視聴型 29 日	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について 認知症について
9 月	視聴型 16 日 26 日	BCP（感染症）について 緊急時対応（夜間想定）について 口腔衛生管理について
10 月	24 日	ハラスメントについて
11 月	視聴型 14 日	感染症対策について 感染症対策訓練（ノロウイルス）について
12 月	5 日	BCP（自然災害）訓練
1 月	視聴型 9 日 23 日	看取りケアについて 基礎介護技術（オムツのあて方） 事故防止対策（KYT）について
2 月	13 日 20 日 27 日	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について 喀痰吸引について 口腔ケアについて
3 月	12 日 27 日	プライバシー保護について 救命救急講習について

外部研修

月	日付、内容	
5 月	12 日 17 日 23 日 30 日	認知症ケアを考える 第 113 回ケアマネージャーの為のハラスメント研修 第 18 回褥瘡セミナー「褥瘡ケアの温故知新」 がん疾患の評価と治療
6 月	12 日 13 日	第 60 回関東ブロック老人福祉施設研究会 第 20 回アクティブ福祉 in 東京 合同大会

	13 日 中央介護福祉専門学校同窓会研修会 13 日 Windows10 サポート終了に備えよう、大臣シリーズへの影響と対策 25 日 訪問介護での定期巡回の基本と実務講座
7 月	2 日 令和 7 年度新規採用職員合同研修 2 日 令和 7 年度千葉県介護支援専門員研修更新研修課程Ⅱ（～9 月 4 日） 4 日 認知症と家族の会 千葉県支部主催「千葉緑の集い」 10 日 介護予防サービス・支援計画書の作成について 18 日 介護事業所の 2 年目業務改善研修 22 日 令和 7 年度高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修（新任職員研修）
8 月	1 日 認知症介護基礎研修 e ラーニング（～9 月） 7 日 第 2 回ケアテックス東京 2 5 夏 7 日 社会福祉協議会セミナー 20 日 生産性向上フォローアップセミナー 27 日 大巖寺研修（～8 月 28 日） 31 日 第 46 回九都市合同防災訓練
9 月	11 日 急性期呼吸器感染症・感染性胃腸炎の予防・発生時の拡大防止について 16 日 令和 7 年千葉県地域包括支援センター職員新任者研修（～9 月 17 日） 18 日 令和 8 年度あんしん浜野圏域合同研修会 24 日 ハラスメント相談対応研修 26 日 令和 7 年度あんしん浜野圏域他職種連携会議 30 日 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ 更新研修前期
10 月	9 日 H. C. R2025 第 52 回国際福祉機器展&フォーラム 11 日 8050 問題を考える映画上映会・座談会 11 日 小谷小学校避難所体験訓練（千葉市緑区）の DWAT 訓練 25 日 「のりしろ」はありますか？～多分野連携の可能性を考えよう～
11 月	11 日 令和 7 年度千葉県高齢者虐待防止対策研修 11 日 第 26 回千葉県高齢者福祉研究会（発表者） 21 日 社会福祉施設関係者の為の基礎法務セミナー 26 日 科学的介護セミナー～自立支援の推進ケアと質向上を目指して～ 30 日 介護予防の推進に資する専門職員教育
12 月	1 日 千葉県 DWAT フォローアップ研修自洗学習について 12 日 環境～生活機能に影響を与える環境因子～ 20 日 適切なケアマネジメント手法の手引き
1 月	14 日 リーダーの為のコミュニケーション・接遇研修 15 日 多職種県警会議「ヤングケアラー」 16 日 令和 7 年度千葉県介護支援専門員実務研修 20 日 千葉県 DWAT フォローアップ研修 20 日 高齢者疑似体験・福祉用具を知ろう 28 日 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座

2 月	3 日	令和 7 年度非常対策委員会・防災研修
	6 日	レジオネラ菌感染症に関する講習
	10 日	罪を犯した高齢者を支援並びに再犯防止の取組
	17 日	令和 7 年度介護現場における生産性向上フォローアップセミナー成果報告会
	24 日	令和 7 年度居宅介護支援専門員・地域包括支援センター研修会
	25 日	東京ケアウィーク 26
3 月	2 日	介護現場における生産性向上フォーラム
	25 日	「終末期の暮らしを支える」～本人・家族の思いを受け止めていますか？～
	28 日	福祉用具を活用したノーリフトケアの考え方と実践方法を学ぶ

5. 実習報告

月	日程	学校・学部名等	内容	人数
5 月	13, 14, 16, 20, 21, 22 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習（総合）	4 名
	20, 21 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習（総合）	4 名
6 月	16, 18, 19, 20 日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科見学実習	9 名
	23, 25, 26, 27 日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科見学実習	10 名
8 月	4 日～9/4 日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習Ⅱ（23 日間）	1 名
9 月	8 日～12 日	淑徳大学看護栄養学部	管理栄養士給食臨地実習	3 名
	30 日～10/9 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	10 名
10 月	14～11/27 日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習Ⅰ（導入）	118 名
	14, 15, 17, 20, 23 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	8 名
11 月	25, 26, 28, 12/2, 4 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	7 名
	25, 27, 12/2, 4, 9, 11, 16, 18 日	淑徳大学総合福祉学部	実践心理学科現場実習	4 名
12 月	9, 10, 12, 15, 18 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	9 名
1 月	6, 7, 9, 13, 15 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	9 名
2 月	3～3/20	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習Ⅰ（基礎）	111 名
	18, 19, 20, 24, 25, 26, 27 日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	11 名
3 月	17, 18, 24 日	-	介護支援専門員実務者研修	1 名
				延べ 319 名

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4 月	23 日	ホール	降誕会	宗教行事
5 月	13 日 28 日	苑内 苑内外	台湾大仁科技大学視察 フラワーリレーション	施設見学 千葉家庭裁判所への協力
6 月	8 日 21 日 21 日	地域 苑内 苑内	生実町体育祭 大乘淑徳学園研修会視察 家族会役員会	地域行事 関連法人研修、視察 会計監査、今後の予定他
7 月	6 日 15 日 25 日	苑内 苑内 ホール	家族会総会 千葉盲学校施術体験会 孟蘭盆会	会計、予定、確認事項等 希望利用者・職員への施術体験 宗教行事
8 月	1 日 15 日	苑内 苑内	千葉明德高校書道部交流会 生実町花火大会	書道による地域交流 地域行事
9 月	10 日 12 日 24, 25 日	苑内 苑内 苑内	フラワーリレーション 敬老会 補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力 敬老のお祝い 千葉家庭裁判所への協力
10 月	5 日 11 日 12 日 14 日 20 日 28 日	苑内 地域 苑内 苑内 苑内 苑内	訪問カレッジ研修会 生実神社湯立式 秋まつり つるまい風の丘現場実習 大網白里特支の現場実習 調査官、調停員見学懇談会	医療的ケア団体への協力 地域行事 家族会行事 特別支援学校への進路指導協力 特別支援学校への進路指導協力 千葉家庭裁判所への協力
11 月	3 日 8 日 21 日	地域 地域 苑外	生浜地区体育祭 千葉市防災訓練 ハローワーク求人会	地域行事 地域行事 ハローワーク求人の催し
12 月	3 日 5 日 5 日 16 日 26 日	苑内外 ホール 苑内 苑内 苑内	フラワーリレーション 成道会 つるまい風の丘分校清掃活動 千葉盲学校施術体験会 霧島関もちつき大会	千葉家庭裁判所への協力 宗教行事 特別支援学校への進路指導協力 希望利用者・職員への施術体験 家族会行事
1 月	1 日 14, 15 日	地域 苑内	生実神社歳旦祭 補導委託訓練	地域行事 千葉家庭裁判所への協力
2 月	3 日 3 日 7 日	地域 苑内 ホール	大巖寺節分 障害者委託訓練 涅槃会	地域の節分行事 受託訓練実施 ～14 日まで 宗教行事
3 月	1 日 25 日	苑外 苑内	ちばふくフェア 千葉明德高校書道部交流会	ハローワーク求人の催し 書道による地域交流

7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム淑徳共生苑

年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	0	60	853	1,071	664	2,648	98.1%	3.9
5月	0	93	868	1,090	689	2,740	98.2%	3.9
6月	0	90	825	1,077	666	2,658	98.4%	3.9
7月	0	93	806	1,116	719	2,734	98.0%	3.9
8月	0	93	744	1,192	727	2,756	98.8%	3.9
9月	0	90	756	1,138	670	2,654	98.3%	3.9
10月	0	93	819	1,167	643	2,722	97.6%	3.9
11月	0	90	805	1,162	589	2,646	98.0%	3.9
12月	31	102	756	1,202	620	2,711	97.2%	3.8
1月	31	124	775	1,138	604	2,672	95.8%	3.8
2月	28	98	710	1,039	575	2,450	97.2%	3.8
3月	10	120	788	1,209	600	2,727	97.7%	3.8
計	100	1,146	9,505	13,601	7,766	32,118	97.8%	3.9

入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	3	2	1	1	0	1	1	2	1	1	2	3	18
日数	23	18	10	16	0	20	5	12	31	22	17	16	190

性別・要介護度別入居者数

	男性	女性
要介護1	0	0
要介護2	0	4
要介護3	6	19
要介護4	9	30
要介護5	4	16
計	19	69
平均介護度	3.9	3.8

年齢・性別構成

	男性	女性
50歳代	1	0
60歳代	1	1
70歳代	5	6
80歳代	7	28
90歳代	5	30
100歳代	0	4
計	19	69
平均年齢	82.7歳	89.10歳

地域状況（保険者）

	人数
千葉市中央区	52
千葉市緑区	14
千葉市美浜区	5
千葉市若葉区	4
市原市	2
船橋市	2
茂原市	2
東金市	1
野田市	1
成田市	1
鎌ヶ谷市	1
君津市	1
木更津市	1
他県	1
計	88

利用料負担階層

	1割	2割	3割
1段階	0	-	-
2段階	5	-	-
3段階①	8	-	-
3段階②	15	-	-
4段階	59	1	0
計	87	1	0

在苑期間

	男性	女性
1年未満	9	14
5年未満	10	43
10年未満	0	10
10年以上	0	2
計	19	69
平均	1年6ヶ月	2年11ヶ月

入所状況

人数	月	年齢	性別	介護度	入所前の居所
1	4月	84	女性	要介護4	介護老人保健施設
2	4月	89	女性	要介護3	家庭
3	4月	95	男性	要介護4	その他の医療機関
4	5月	81	女性	要介護5	その他の医療機関
5	6月	94	女性	要介護4	認知症対応型共同生活
6	6月	78	男性	要介護4	家庭
7	6月	76	男性	要介護4	家庭
8	7月	67	男性	要介護3	その他の医療機関
9	8月	92	女性	要介護4	介護老人保健施設
10	8月	91	男性	要介護3	介護老人保健施設
11	8月	88	男性	要介護4	家庭
12	9月	55	男性	要介護4	家庭
13	9月	92	女性	要介護3	介護老人保健施設
14	10月	89	女性	要介護4	介護老人保健施設
15	10月	92	女性	要介護3	介護老人福祉施設
16	10月	92	女性	要介護3	その他
17	11月	91	女性	要介護5	家庭
18	11月	73	女性	要介護4	家庭
19	12月	84	女性	要介護4	介護老人保健施設
20	12月	91	男性	要介護4	家庭
21	1月	81	男性	要介護4	介護老人保健施設
22	1月	89	女性	要介護5	認知症対応型共同生活
23	1月	86	男性	要介護4	その他の医療機関
24	1月	75	男性	要介護5	家庭
25	2月	89	女性	要介護3	家庭
26	2月	85	女性	要介護4	家庭
27	3月	79	女性	要介護5	介護老人保健施設
28	3月	69	女性	要介護3	介護老人保健施設

退所状況

人数	月	年齢	性別	介護度	退所事由
1	4月	87	女性	要介護5	死亡（医療機関）
2	4月	97	男性	要介護5	医療機関
3	4月	91	女性	要介護4	死亡（医療機関）
4	5月	97	女性	要介護4	死亡（看取り）
5	5月	90	女性	要介護5	医療機関
6	6月	88	男性	要介護5	死亡（施設）
7	6月	90	女性	要介護3	医療機関
8	7月	91	女性	要介護3	死亡（医療機関）
9	7月	96	女性	要介護5	死亡（看取り）
10	8月	99	女性	要介護4	死亡（看取り）
11	8月	85	女性	要介護5	死亡（看取り）
12	9月	92	女性	要介護5	死亡（施設）
13	9月	94	女性	要介護4	死亡（施設）
14	10月	98	女性	要介護4	死亡（看取り）
15	10月	96	女性	要介護4	死亡（医療機関）
16	10月	81	女性	要介護5	死亡（看取り）
17	11月	94	女性	要介護5	死亡（看取り）
18	11月	97	女性	要介護3	死亡（看取り）
19	12月	88	男性	要介護4	死亡（看取り）
20	12月	95	女性	要介護3	死亡（看取り）
21	12月	98	女性	要介護4	死亡（看取り）
22	1月	93	女性	要介護4	死亡（施設）
23	1月	96	女性	要介護4	死亡（看取り）
24	1月	74	女性	要介護4	死亡（施設）
25	1月	82	男性	要介護4	死亡（医療機関）
26	2月	84	男性	要介護5	死亡（看取り）
27	3月	65	男性	要介護1	家庭
28	3月	95	女性	要介護3	死亡（看取り）
29	3月	93	女性	要介護3	死亡（看取り）

施設相談員報告

令和7年度は、施設内感染症発生はあったが、面会・レクリエーション・研修など、家族が日々面会に来苑する日常の中で運営を継続することができた。

- ・申込者の見学相談を積極的に受け入れ、入所前調査等により入居者の生活習慣の把握、家族の思いを把握し、診療所・ユニット・他職種との連携を図り、入居者の個別的な生活が維持できるよう努め、尊重したケアを提供するよう努めた。

- ・他職種連携の強化のため、ユニット会議・カンファレンス（担当者会議）だけでなく、看護会議や淑徳おゆみ診療所医師との相談体制を構築し、入居者の体調管理やケアの向上に努めた。昨年のカンファレンスシートに続き、ユニット動態表を作成し、入居者様の活動性向上への取組を実施した。

- ・各委員会は、各委員会の年間スケジュールを作成し、業務負担を減らし効果的に運営できるように取り組んだ。スケジュールに多様性を持たせた反面、委員メンバー参加人数に影響がでてしまった。次年度は委員会開催曜日を限定的に運営し実施できるようにする。

○虐待防止委員会：啓発活動の実施と、不適切なケア等のアンケートを作成し実施。アンケートをもとに個別面談を実施し、不適切なケアの改善とより良いケアの実現を目指すために取組みを行った。また教育が必要なケースに関しては、通常の苑内研修とは別に、個別に研修を実施した。

○身体拘束廃止委員会：身体拘束廃止の取り組みの結果、今年度も身体拘束ゼロを実現している。

○防災委員会：避難訓練マニュアルを作成し、より実践的な避難経路を理解できるようにし、訓練を行った。またBCPの見直しを実施、初動について参集メンバーと協議した。次年度はBCPをより実践的に機能するように協議・訓練を実施していく。

- ・ユニットの中で実施できるレクリエーションの工夫・毎月の法話会（宗教行事）・定期的な音楽レク、外出などユニット合同活動の機会を増やし喜んでもらえるよう支援した。また、秋祭りや餅つき会、敬老会に参加できる家族を前年度より増やして喜んでもらえるように実施した。

- ・苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップとして介護職者としての資質向上に努め、研修会はロールプレイやグループワークを積極的に取り入れた。また法令研修の視聴型研修を構築し、全職員が学習できる体制を作りと集合研修・訓練の充実を図ることができた。

・実習生の受け入れ体制については実習内容も改めて、社会福祉士実習・看護実習など苑内での実施を行うことができた。感染対策を徹底した中で、デイサービスやユニットでの現場実習も実施することができた。

・入所をスムーズにするため入所判定委員の連携を強化したことにより、退所が決まった時点で次期新規入所が決定している受け入れ体制をとることができた。平均入所：月 2.3 人、平均退所：月 2.4 人と前年度とほぼ同様。前年度より稼働率を 0.4% 上げることができたが、入院者が多かったため当初目標値を達成することができなかった。安定した稼働を維持していくため、ショートステイから長期入所へ移行がスムーズにできるように体制を強化し、入所待機者をさらに増やし、安定した稼働ができるようにしていく。

・今年度感染症は、新型コロナウイルスやインフルエンザだけではなく、感染性胃腸炎や疥癬の感染が生じた。淑徳おゆみ診療所との連携により、早期発見・早期治療が可能となり、終息することができ、感染症が原因での退所者はゼロであった。引き続き、感染症予防対策マニュアルを見直し、徹底していく。

来年度は、引き続き感染症予防対策を徹底していく中で、苑内外での活動を活発化し、入居者が充実した生活を過ごせるように努めていく。また生産性向上への取組にも力を入れて、働きやすい職場作りに努めていく。

施設看護報告

・施設医療において、健康に生活できるレベルを保つ事、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え常勤医師との連携に努めた。

・健康診断において、入居者様の健康状態の把握、異常の早期発見に努める事ができている。

・施設看護体制の中で、医師の指示のもと看護師が出来る範囲の医療を昨年同様提供できている。

・熱発等の受診においては、肺炎（誤嚥性）や熱の受診が上位を占めており、必要時、診療所にて点滴治療が可能であり、内服と点滴治療でほとんどの方が回復され、他への感染もなく至っている（入院者数も減少している）。皮膚疾患（湿疹・痒み）における受診が多くみられたが、医師・介護職員との連携により清潔保持を徹底し改善へと向かった。褥瘡に関しては褥瘡予防委員会におけるチェックリストを参考にし、適切なマット選択・早期発見（発赤の状態）にて悪化することなく改善している。

・他職種との情報連携を円滑に行い、必要とされる医療・看護を提供する事ができた。(食事・排泄・睡眠・看取り等)

・口腔予防衛生の取り組みとして訪問歯科との情報の共有、飲み込む力の弱くなってきている入居者様に対して嚥下訓練も行っている。

・感染症（インフルエンザ・新型コロナ等）については予防接種を行っている。医師の指示のもと必要に応じて医療の提供を行い、感染を最小限に抑えられている。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	延べ人数
整形（打撲・骨折）等	14
CT（72）・XP（10）	82
泌尿器・バルン関係	23
糖尿・内科・栄養関係（採血等）	113
循環器関係	2
頭痛・脳外科関係	1
処置・皮膚疾患	1
皮膚疾患	81
点滴	18
計	334

訪問歯科受診状況

月	診療回数	延べ人数
4月	14	218
5月	14	237
6月	12	194
7月	14	211
8月	12	183
9月	15	218
10月	12	203
11月	11	192
12月	14	204
1月	12	173
2月	12	180
3月	10	172
計	152	2,385

他医療機関受診状況

診療科	延べ人数
内科	7
神経内科・精神科	16
眼科	18
皮膚科	14
循環器・ペースメーカー管理	5
耳鼻科	0
整形外科	4
胃腸	5
泌尿器科	3
脳・乳腺・口腔外科	10
計	82

浜野グラストビトイーン歯科、おゆみ野総合歯科クリニック（R8/2/16 往診終了）の2院で診察
喀痰吸引（主に口）1名、経管栄養3名、ペースメーカー3名、バルン4名、人口肛門1名

7-2. 淑徳共生苑短期入所者生活介護事業所

令和7年度は、新規にご利用を申し込まれる方も前年度に比べ、増加した。しかし、単発でのご利用や他施設入所をされてしまうケースも多く、継続的なご利用をされる方が少なかった。

介護テクノロジー機器の導入により、今まで浴槽に入れなかった方が浴槽に浸かれることとなり、非常に好評であった。

集団的なレクリエーションの実施頻度も増え、ご利用いただいている方からは好評の声をいただく事ができたが、人員配置などによっては毎日の実施が出来ていない部分もあり、次年度以降は改善が必要である。

年度を通しての稼働率は、インフルエンザや感染性胃腸炎の発生もあり、77.3%に留まってしまった。

ロングショートステイから長期入所に繋がったケースが今年度は5件あった。次年度以降も長期入所を希望される方の受け皿としての役割を担っていく必要があると考える。

次年度は、より一層の新規利用の獲得と更なる安定した稼働率での運営を目指し、各居宅介護支援事業所への営業活動ができるように取り組んでいきたい。

年間稼働率

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	0	0	23	26	152	22	19	242	80.7%	3.0
5月	0	0	16	33	146	18	18	231	74.5%	3.0
6月	0	0	22	30	126	35	27	240	80.0%	3.1
7月	0	0	7	37	129	60	21	254	81.9%	3.2
8月	6	0	22	22	123	58	18	249	80.3%	3.0
9月	0	0	25	35	111	32	20	223	74.3%	2.9
10月	0	0	19	51	98	29	20	217	70.0%	2.9
11月	0	0	27	37	122	24	31	241	80.3%	3.0
12月	0	0	30	31	100	37	35	233	75.2%	3.1
1月	0	3	24	36	100	44	32	239	77.1%	3.1
2月	0	3	22	33	86	62	21	227	81.1%	3.1
3月	0	3	25	37	88	58	16	227	73.2%	3.0
計	6	9	262	408	1,381	479	278	2,823	77.3%	3.0

7-3. 淑徳共生苑通所介護事業所・

淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所

令和7年度は、目標稼働率を達成できた月もあったが急な入院や利用終了によって大きく減少してしまう事もあった。減ってしまった利用者をすぐに補填することは難しく稼働率を安定させることができなかった。

令和7年度の新たな試みとして、ボランティアによるアロマハンドマッサージやカラオケボランティアをそれぞれ隔月で行い好評を得ている。

職員体制が整わず、前年度よりも外出行事や研修への参加が少なくなってしまった。

通所介護事業所年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	165	129	28	47	0	369	71.0%	1.9
5月	177	132	52	34	0	395	73.1%	1.9
6月	170	136	36	18	0	360	72.0%	1.7
7月	185	132	48	18	0	383	70.9%	1.7
8月	188	132	33	24	3	380	70.4%	1.7
9月	208	132	31	24	7	402	80.4%	1.7
10月	221	126	29	25	8	409	75.7%	1.7
11月	198	110	29	33	13	383	73.7%	1.8
12月	198	115	30	31	14	388	80.8%	1.8
1月	176	110	18	25	15	344	74.8%	1.8
2月	164	109	24	20	8	325	67.7%	1.8
3月	177	111	32	27	9	356	68.5%	1.8
計	2,227	1,474	390	326	77	4,494	73.2%	1.8

認知症対応型通所介護事業所年間稼働率

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	稼働率	平均介護度
4月	9	12	21	0	4	46	29.5%	2.5
5月	18	8	24	25	5	80	49.4%	2.9
6月	22	7	37	21	4	91	60.7%	2.8
7月	35	0	45	1	4	85	52.5%	2.3
8月	22	0	23	0	10	55	34.0%	2.6
9月	29	0	24	0	9	62	41.3%	2.4
10月	35	0	26	0	12	73	45.1%	2.4
11月	29	0	22	3	12	66	42.3%	2.5
12月	42	0	34	0	11	87	60.4%	2.3
1月	33	0	47	0	12	92	66.7%	2.5
2月	24	0	51	0	12	87	60.4%	2.7
3月	28	0	49	2	10	89	57.1%	2.6
計	326	27	403	52	105	913	49.6%	2.5

7-4. 淑徳共生苑居宅介護支援事業所

昨年度に引き続き令和7年度も3名体制を維持して特定事業所加算Ⅲを算定できた。千葉県介護支援専門員実務研修実習生（1名）を受け入れた。研修や事例検討会等への参加により質の高いケアマネジメントの維持に努め、多職種連携会議や地域活動への参加にも積極的に取り組んだ。

入院や終了者が重なる時期もあったが、既存の利用者の状況等を踏まえながら新規相談に随時対応した事で、昨年度よりも担当件数は増加した。それに伴い、認定調査については、ケアマネジメント業務の状況等を踏まえて可能な範囲で受託した。新規相談や認定調査の依頼は多い状況であり、随時対応を継続していきたい。

実績

	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	3	5	7	44	18	17	6	5	102
5月	3	6	5	56	18	17	11	4	117
6月	3	6	5	46	18	15	9	3	102
7月	3	7	5	48	19	16	10	3	108
8月	3	7	5	48	16	16	11	5	108
9月	3	9	6	52	16	18	10	3	114
10月	3	9	6	53	14	16	11	3	112
11月	3	10	6	55	14	21	12	2	120
12月	3	10	6	56	16	21	10	2	121
1月	3	9	6	53	16	17	9	5	115
2月	3	9	7	53	18	18	10	4	119
3月	3	9	6	54	18	19	8	5	119
計	-	96	70	618	201	211	117	44	1,357

月平均 113.1

登録者数（3月末時点）

性別	予防給付	介護給付	計
男性	7	36	43
女性	8	69	77
計	15	105	120

登録者世帯状況（3月末時点）

世帯	人数
独居	26
夫婦	37
子ども世帯同居	51
他親族同居	1
その他※	5
計	120

※ロングショート利用、住宅型有料老人ホーム入所等

認定調査受託

受託件数	保険者
29件 (前年度45件)	船橋市7件、茂原市5件、いすみ市2件、木更津市2件、市原市1件、千葉市（花見川区1件、中央区4件）、東京都（葛飾区1件、練馬区1件）、埼玉県（越谷市2件、川口市1件）、石川県（七尾市2件）

研修等参加

月	日付・内容・参加人数
4月	15日 浜野圏域地域イベント開催の為の実行委員会（1名）
5月	14, 27日 浜野圏域地域イベント開催の為の実行委員会（1名） 7日 すずらんクリニック主催 癌についての研修会（1名）
6月	13日 中央介護福祉専門学校同窓会研修（1名） 16日 浜野圏域地域イベント開催の為の実行委員会（1名） 25日 オンライン研修「定期巡回・随時対応型訪問介護看護について」 27日 苑内研修「感染症BCP」（1名）
7月	4日 認知症と家族の会（1名） 4日 浜野圏域地域イベント開催の為の実行委員会（1名） 10日 外部研修（1名） 12日 浜野圏域地域イベント「はまフェス」（2名） 15日 浜野圏域事例検討会（2名）
8月	6日 浜野圏域事例検討会打ち合わせ（3名） 22日 淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議（1名） 22日 浜野圏域事例検討会打ち合わせ（3名）
9月	10日 介護支援専門員更新研修（1名） 18日 あんしん浜野・松ヶ丘主催合同研修（3名） 18日 実習指導者担当者会議（1名） 26日 浜野圏域多職種連携会議（3名）
10月	6日 浜野圏域事例検討会（3名）※運営担当 11日 介護支援専門員更新研修（1名） 12日 淑徳共生苑秋祭り 17日 施設設備点検に伴う停電に合わせた部署内BCP（災害）訓練 25日 中央区実践事例報告会（1名）
11月	11日 あんしん浜野圏域ケアマネサロン（2名） 13日 あんしん松ヶ丘主催「高齢者虐待防止研修」（3名） 18日 外部研修「ヤングケアラーについて」（1名）
12月	1日 オンライン研修「ケアプランデータ連携システムについて」（1名） 5日 苑内研修「BCP訓練」 17日 あんしん浜野主催「高齢者虐待防止研修」（3名）
1月	15日 中央区多職種連携会議（1名） 16日 浜野圏域事例検討会（3名） 20日 オンライン研修「適切なケアマネジメント手法」（1名）
2月	10日 あんしん5センター主催「罪を犯した高齢者の支援等」（1名） 12日 あんしん中央・千葉寺・松ヶ丘合同多職種連携会議（1名） 17日 淑徳共生苑認知症対応型通所介護 運営推進会議（1名） 24日 「高齢者虐待対応における地域包括・居宅CMの連携等」（1名）
3月	4日 あんしんケアセンター浜野意向調査（3名） 17, 18, 24日 実務研修実習生受け入れ

7-5. 淑徳おゆみ診療所

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外来患者数	488	487	495	468	478	468	479	506	508	470	465	453	5,765
入居者等	48	60	41	51	76	62	65	60	50	63	22	59	657
処方等	259	224	267	264	257	309	273	245	261	201	184	253	2,997
予防接種等	90	17	123	17	45	28	258	138	101	8	6	6	837
計	885	788	926	800	856	867	1,075	949	920	742	677	772	10,256

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ケ丘

あんしんケアセンター松ケ丘では、下記のように年間の活動方針・重点活動項目を定め、それに沿って活動した。

1. 令和7年度活動方針（総合）

- ・ 多世代にあんしんケアセンターの周知を図り、問題が複雑化・深刻化する前の段階で相談に結びつくようにする。
- ・ 孤立・孤独の問題を抱える地域の現状や課題を抽出し、支援の方法等を検討していく。
- ・ 坂があっても自身の力で買い物等ができるよう、地域の課題を把握し、セルフケアの取組みの促進や普及啓発を図る。

2. 令和7年度重点活動項目

（ア）松ケ丘（対象地域：星久喜町・仁戸名町・川戸町・松ケ丘町）

- ・ 生活の現状把握とセルフケアの取組みの促進

（イ）白旗出張所（対象地域：大巖寺町）

- ・ 高齢者の社会的孤立の要因調査及び予防する支援方法の検討

3. 年度総括

(ア) 活動方針

- ・ 三職種それぞれが、中央区あんしん5ケアセンターと協働して研修会等や圏域内においての研修会等を開催した。
- ・ 複雑化・深刻化したケースの相談が多くあり、センター職員で情報共有や支援方法の検討、個別ケース会議を開催するなどして支援を行った。
- ・ 積極的に地域の通いの場や催しに参加し、多くの年代の方にあんしんケアセンターの周知や消費者被害、介護予防に係る普及啓発を行った。

(イ) 第1号介護予防支援事業

- ・ 適切なフォーマル・インフォーマルサービスを紹介し、利用者が住み慣れた地域の中で生活が維持できるよう努めた。
- ・ 自立促進ケア会議を2回開催し、多職種や行政と地域の中でいかに自立して生活して行かれるかなど、意見交換を行った。

(ウ) 総合相談支援

- ・ 複合的な課題を抱えるケースに対して、個別地域ケア会議等を実施し、高齢障害支援課や福祉まるごとサポートセンター等の関係機関等協働して課題解決に取り組んだ。
- ・ シニアリーダー体操教室や地域行事への参加などを通じて、幅広い年代の地域住民に対してあんしんケアセンターの周知を図った。
- ・ 地域のイベントで出張相談会を開催した。

(エ) 権利擁護

- ・ 身体拘束をテーマに高齢者虐待防止研修を行い、圏域内の事業所と虐待を早期発見するための関係構築を図ることができた。
- ・ 虐待が疑われるケースに対しては関係機関と連携して支援を行った。
- ・ シニアリーダー体操教室で多くの高齢者に向けて消費者被害について周知を行った。
- ・ 中央区あんしんケアセンター社会福祉士が共同して市民向け講座を開催した。
- ・ 認知症サポーター養成講座、認知症キッズサポーター養成講座を開催し、認知症の理解促進に取り組んだ。

(オ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・ 中央区あんしん5センターと合同で研修会を開催した。

- ・ 昨年に引き続き実践事例報告会を開催し、多くの方に参加いただき多分野との連携強化を図ることができた。
- ・ 介護支援専門員への後方支援や相談対応を多く行った。

(カ) 一般介護予防

- ・ シニアリーダー体操教室の立ち上げや継続支援を行った。
- ・ マンションや保育所にビジネスケアラーに関する広報誌を配布し普及啓発を行った。
- ・ 人生会議に関する講座を開催し、自身の生き方や生活集会について振り返る機会を設けることができた。

(キ) 重点項目（松ヶ丘）

- ・ 自立促進ケア会議において、移動困難な状態の方の個別ケースの検討、地域で行う取組みについての検討を行った。

(ク) 重点項目（白旗出張所）

- ・ 高齢者の社会的孤立に関するアンケート調査を行い、家族構成、会話頻度、困りごと、健康不安、孤独の対処法などの項目から、高齢者の生活状況や孤立リスクに関する基礎的な傾向を把握した。

7-7. 千葉市生活支援コーディネーター

松ヶ丘圏域担当生活支援コーディネーターは、下記のように重点取組項目・具体的な活動目標を定め、それに沿って活動した。

1. 重点取組項目

- (ア) 多世代にあんしんケアセンターの周知を図り、支援ニーズの把握に努める。
- (イ) あんしんケアセンター専門職と連携し、セルフケアの取組みに向けた地域資源を支援していく。
- (ウ) 松ヶ丘・白旗出張所がそれぞれ重点項目に定めた地域（主に川戸町・星久喜町・大巖寺町地）の特性を把握し、資源の検討や提案を行う。
- (エ) 町内自治会、民児協、社協など関係機関とのネットワークを構築し、それぞれが直面している課題やニーズを把握していく。

2. 具体的な活動目標

(ア) 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

3. 年度総括

(ア) 活動方針

高齢者が住み慣れた地域、自宅での生活を継続できるよう支援していく。介護予防や生活支援サービスなど日常生活を送るうえで必要な情報が得られるようにしていく。

通いの場が拠点となり、地域全体で高齢者を見守っていくことができる地域づくりを目指していく。

(イ) 生活支援・介護予防サービスの創出

住民自らが運営できる通いの場を支援していきながら、見守り活動や住民同士の助け合いへと発展するような働きかけをしていく。

高齢者がフレイル状態に陥ることなく、坂道を歩くことができるように、セルフケアの取組みを促進する。

(ウ) 支援ニーズの把握

高齢者が日常生活を送るうえで不足している地域資源を把握し、必要とするサービスが提供されるような支援体制を整えていく。

地域に関する情報を整理し、地域の特性や課題について把握していく。

(エ) 担い手の育成

シニアを中心とした世代の参画を得て、高齢者を対象とした地域支援活動を活性化させていく。多世代に向けて地域活動の参画を促す普及啓発活動を行う。

(オ) 多様な関係機関・団体とのネットワークの構築および協議体の設置

高齢者のQOL維持向上を目指し、生きがいを持って住み慣れた地域で暮らしていけるよう社会参加を促す。

地域包括ケアシステムの構築に向けて、関係機関と連携し、支援を必要とする高齢者が自立した日常生活を送ることができるように支援していく。

(カ) 認知症地域支援推進員の活動

地域に住む認知症当事者が認知症になっても自分らしい生活を送ることができるよ

うに、認知症への理解を深めるための普及啓発活動を推進していく。

認知症になっても安心できる社会の実現に向けて、地域における認知症の人の医療・介護等の支援ネットワークを構築する。

3. 重点取組項目・総合評価

(ア) 松ヶ丘・白旗出張所がそれぞれ重点項目に定めた地域の特性、地域課題について、通いの場等でヒヤリングして把握に努めた。

(イ) 買い物資源については、調査以外でも聞き取りを行い、センター職員に共有できるようマップ化した。

(ウ) 他機関と共催で交流会や座談会、体験回答を開催することで、多世代に向けた周知を図ることができた。

(エ) 次年度の介護予防普及啓発活動について、センター看護師と情報共有を行った。

4. 具体的な活動目標に対する取組状況

(ア) ほとんどの調査を対面で行うことで、関係構築ができた。

(イ) シニアリーダー連絡会に参加し、状況把握等を行った。

(ウ) シニアリーダー体操教室や認知症カフェの立ち上げ支援を行い、無事に開催することができた。

(エ) 中央いきいきプラザと共同で認知症ステップアップ講座修了者交流会などを開催し、横のつながりを作るなどの連携強化に努めた。

(オ) 生活支援コーディネーター定例会を通じ、健康課、地域づくり支援課、社協など関係機関とのネットワーク構築に努めた。

(カ) センター内の各種会議に参加し、状況把握や普及啓発活動などを行った。

(キ) 認知症地域支援推進員としてみかんの会に参加し、認知症カフェ班として認知症カフェの普及啓発活動等を行った。

